

平成23年7月22日

青木村立青木小学校
保護者 様

青木村立青木小学校
校長 中澤 康匡

青木小学校の放射線量の現状について

盛夏の候、大型の台風も南東へそれ、台風一過の晴天にほっとしている今日この頃ですが、皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。また、日頃は青木小学校のために、ご支援、ご協力をいただき有り難うございます。

さて、先の東日本大震災におきましては、地震や津波だけでなく、破壊した原子炉からの放射線による被害も甚大なものになってきております。犠牲になられた皆様のご冥福を心からお祈りするとともに、被災され未だに避難生活を余儀なくされている皆様に、心からお見舞い申し上げます。

特に放射線につきましては、目にも見えず、人体に及ぼす影響も先々にならないと分からないということもあり、前回6月20日付けの「学校の放射線量の現状について」をご覧になって、南小学校は良かったけど、青木小学校は本当に安全なのだろうか、心配になられている保護者の皆様もいらっしゃるかと思います。

そこで、7月19日に長野県教育委員会が測定した青木小学校校庭の空間放射線量測定結果をもとに、青木小学校校庭の放射線量の現状を下記のとおりお知らせいたします。なお、今回の測定結果についての長野県からの通知を裏面に掲載いたしますので、参考にしてください。

記

1 青木小学校の状況

○青木村立青木小学校 地表0.07、50cm地点と1m地点0.06、
最高値 → 毎時間 0.07マイクロシーベルト



○基準値（国際放射線防護委員会） → 毎時間 3.8 マイクロシーベルト

2 結果

青木小学校の最高値と基準値を比較してみると、基準の約54分の1程度の放射線量となりました。

従って、現時点では、ほとんど影響はないと思われます。

今後も、子どもたちの安全な学習環境を維持するために、アンテナを高くして、情報収集に努めていきたいと思っております。ご理解ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

詳しい資料は、青木小学校のホームページから参照できます。なお、ご質問やご意見等ございましたら、担当までご連絡ください。

青木村立青木小学校
担当 島田 浩幸（教頭）
TEL 49-2009